

開講開始年度	2021
授業コード	1N516A
担当教員	山田 慎
科目	情報処理論 A
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 近年医療の分野だけでなく、一般社会においても幅広く情報処理技術が導入されており、これらについての基本的な知識の修得が必要となってきている。そこで、本講義では基本的なワープロソフト(Word)による文書作成、表計算ソフト(Excel)によるデータ処理およびグラフ作成からそれらを統合的に用いたレポートや論文作成に必要なスキルについて学習する。また、情報リテラシーについても学習する。加えて、データ駆動型社会への転換の中で必須となっているデータサイエンスの基礎知識習得も行う。</p> <p>データサイエンスについては、オンデマンドを活用して解説する。オンデマンドでは、1. 社会におけるデータ・AI 利活用(社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向)、2. データリテラシー(データを読む、データを説明する、データを扱う)、3. データ・AI 利活用における留意事項(データ・AI を扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項)を解説する。</p>
学位授与方針の関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)各学科に求められる基本的かつ実践的能力 各学科で求められる基本的知識および技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 ファイル操作や種々の設定ができる。 一般的な文書作成やグラフの作成、また、データの統計的な処理などができる。</p> <p>《個別目標(SBOs)》 データサイエンスの基礎を修得し、データサイエンスについて概説することができる。</p>
授業計画	<p>*** &lt;担当教員&gt; ***</p> <p>⑥ 山田 慎、大森 拓哉、坪下 幸寛 オンデマンド担当:大森 拓哉、坪下 幸寛、吉田 清隆、橋本 晃生</p> <p>*** &lt;授業計画&gt; ***</p> <p>②④ 1.Windows の基礎と文字の入力 [実習・演習] コンピュータやアプリケーションソフトの起動と画面構成、コンピュータの設定、文字の入力の仕方について学ぶ。加えて情報リテラシー関する講義も行う。</p> <p>2. 文書作成 1 [実習] 「(1)文字、段落、表、(2)表とリスト」について学ぶ。</p> <p>3. 文書作成 2 [実習] 「(3)グラフィック要素、(4)他のデータ利用」について学ぶ。</p> <p>4. 文書作成 3 [実習] 「(5)文書の書式・レイアウト」について学ぶ。</p>

	<p>5. 文書作成 4 [実習]  「(6)長文作成と参考資料」について学ぶ。</p> <p>6. 文書作成 5 [実習]  「(7)文書の校閲と共有」について学ぶ。</p> <p>7. 表計算 1 [実習]  「(8)表の作成、(9)表の編集」について学ぶ。</p> <p>8. 表計算 2 [実習]  「(10)～(12)関数」について学ぶ。</p> <p>9. 表計算 3 [実習]  「(13)グラフの管理」について学ぶ。</p> <p>10. 表計算 4 [実習]  「(14)テーブルの利用、(18)ピボットテーブル」について学ぶ</p> <p>11 - 15. 演習 [演習]  テキスト掲載の演習に取り組み、いろいろな場面における応用について学ぶ。  ※すべての回、全教員で対応する。  ◎フィードバック方法: 課題などに関するフィードバックは次回の講義で行う</p> <p>オンデマンド授業  オンデマンド授業の視聴については、授業進行との兼ね合を考慮した上で適時指示する。  視聴後、オンデマンド授業内容について試験を実施する。</p> <p>1. 社会におけるデータ・AI 利活用[講義]  社会で起きている変化と活用されているデータ。AI の活用事例</p> <p>2. データ・AI 利活用のための技術[講義]  AI 利活用の現場と最新の動向について</p> <p>3. データリテラシー・データを読む[講義]  データを読解について</p> <p>4. データリテラシー・データを扱う[講義]  データの取り扱いと活用</p> <p>5. データ・AI 利活用における留意事項[講義]  データや AI の利活用と留意点について</p> <p>◎フィードバック方法: 授業内試験のフィードバックや質問等のサポートは、WEB 等オンラインで行う。</p>
<p>授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間</p>	<p>1. 予習: テキストの P196～P205 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>2. 予習: テキストの P4～P15 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>3. 予習: テキストの P16～P35 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>4. 予習: テキストの P36～P47 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>5. 予習: テキストの P48～P61 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>6. 予習: テキストの P62～P71 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p>

	<p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>7.予習:テキストの P92～P107 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>8.予習:テキストの P108～P117 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>9.予習:テキストの P118～P125 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>10.予習:テキストの P126～P133、P160～165 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>11-15.予習:第 10 回までの内容を確認しておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>◎全ての回、予習は 30 分、復習は 45 分必要である。</p> <p>オンデマンド授業について</p> <p>下記テキストの各章を予習し、視聴後、確認試験を受講する。</p> <p>◎授業外学習時間(予習・復習など)は 60 時間必要であるため、不足分は休暇などを利用して復習すること</p>
テキスト	<p>「30 時間アカデミック 情報基礎 Word&amp;Excel 2019」ISBN:978-4-407-34834-7 実教出版</p> <p>「データサイエンス入門第2版」 ISBN978-4-7806-0730-7 学術図書出版社</p> <p>必要に応じて適宜プリント等を配布する</p>
参考書	特になし。
成績評価の方法・基準	<p>⑦ 定期試験実施:無</p> <p>再試験実施:無(オンデマンド授業の再試験も無)</p> <p>成績評価方法:授業中に行う課題(20%)と総合演習(60%)オンデマンド授業の確認試験(20%)の総合評価で判断する</p>
URL	
備考	<p>USB フラッシュメモリーを持参してください。</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:無</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1N516B
担当教員	山田 慎
科目	情報処理論 B
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 近年医療の分野だけでなく、一般社会においても幅広く情報処理技術が導入されており、これらについての基本的な知識の修得が必要となってきている。そこで、本講義では基本的なワープロソフト(Word)による文書作成、表計算ソフト(Excel)によるデータ処理およびグラフ作成からそれらを統合的に用いたレポートや論文作成に必要なスキルについて学習する。また、情報リテラシーについても学習する。加えて、データ駆動型社会への転換の中で必須となっているデータサイエンスの基礎知識習得も行う。</p> <p>データサイエンスについては、オンデマンドを活用して解説する。オンデマンドでは、1. 社会におけるデータ・AI 利活用(社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向)、2. データリテラシー(データを読む、データを説明する、データを扱う)、3. データ・AI 利活用における留意事項(データ・AI を扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項)を解説する。</p>
学位授与方針の関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)各学科に求められる基本的かつ実践的能力 各学科で求められる基本的知識および技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 ファイル操作や種々の設定ができる。 一般的な文書作成やグラフの作成、また、データの統計的な処理などができる。</p> <p>《個別目標(SBOs)》 データサイエンスの基礎を修得し、データサイエンスについて概説することができる。</p>
授業計画	<p>*** &lt;担当教員&gt; ***</p> <p>⑥ 山田 慎、大森 拓哉、坪下 幸寛 オンデマンド担当:大森 拓哉、坪下 幸寛、吉田 清隆、橋本 晃生</p> <p>*** &lt;授業計画&gt; ***</p> <p>②④ 1.Windows の基礎と文字の入力 [実習・演習] コンピュータやアプリケーションソフトの起動と画面構成、コンピュータの設定、文字の入力の仕方について学ぶ。加えて情報リテラシーに関する講義も行う。</p> <p>2. 文書作成 1 [実習] 「(1)文字、段落、表、(2)表とリスト」について学ぶ。</p> <p>3. 文書作成 2 [実習] 「(3)グラフィック要素、(4)他のデータ利用」について学ぶ。</p> <p>4. 文書作成 3 [実習] 「(5)文書の書式・レイアウト」について学ぶ。</p>

	<p>5. 文書作成 4 [実習]  「(6)長文作成と参考資料」について学ぶ。</p> <p>6. 文書作成 5 [実習]  「(7)文書の校閲と共有」について学ぶ。</p> <p>7. 表計算 1 [実習]  「(8)表の作成、(9)表の編集」について学ぶ。</p> <p>8. 表計算 2 [実習]  「(10)～(12)関数」について学ぶ。</p> <p>9. 表計算 3 [実習]  「(13)グラフの管理」について学ぶ。</p> <p>10. 表計算 4 [実習]  「(14)テーブルの利用、(18)ピボットテーブル」について学ぶ</p> <p>11 - 15. 演習 [演習]  テキスト掲載の演習に取り組み、いろいろな場面における応用について学ぶ。  ※すべての回、全教員で対応する。  ◎フィードバック方法: 課題などに関するフィードバックは次回の講義で行う</p> <p>オンデマンド授業  オンデマンド授業の視聴については、授業進行との兼ね合を考慮した上で適時指示する。  視聴後、オンデマンド授業内容について試験を実施する。</p> <p>1. 社会におけるデータ・AI 利活用[講義]  社会で起きている変化と活用されているデータ。AI の活用事例</p> <p>2. データ・AI 利活用のための技術[講義]  AI 利活用の現場と最新の動向について</p> <p>3. データリテラシー・データを読む[講義]  データを読解について</p> <p>4. データリテラシー・データを扱う[講義]  データの取り扱いと活用</p> <p>5. データ・AI 利活用における留意事項[講義]  データや AI の利活用と留意点について</p> <p>◎フィードバック方法: 授業内試験のフィードバックや質問等のサポートは、WEB 等オンラインで行う。</p>
<p>授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間</p>	<p>1. 予習: テキストの P196～P205 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>2. 予習: テキストの P4～P15 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>3. 予習: テキストの P16～P35 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>4. 予習: テキストの P36～P47 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>5. 予習: テキストの P48～P61 を読み、分からない用語などを調べておくこと。  復習: 授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>6. 予習: テキストの P62～P71 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p>

	<p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>7.予習:テキストの P92～P107 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>8.予習:テキストの P108～P117 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>9.予習:テキストの P118～P125 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>10.予習:テキストの P126～P133、P160～165 を読み、分からない用語などを調べておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>11-15.予習:第 10 回までの内容を確認しておくこと。</p> <p>復習:授業で扱ったページの内容について所有のコンピュータで操作法を確認する。</p> <p>◎全ての回、予習は 30 分、復習は 45 分必要である。</p> <p>オンデマンド授業について</p> <p>下記テキストの各章を予習し、視聴後、確認試験を受講する。</p> <p>◎授業外学習時間(予習・復習など)は 60 時間必要であるため、不足分は休暇などを利用して復習すること</p>
テキスト	<p>「30 時間アカデミック 情報基礎 Word&amp;Excel 2019」ISBN:978-4-407-34834-7 実教出版</p> <p>「データサイエンス入門第2版」 ISBN978-4-7806-0730-7 学術図書出版社</p> <p>必要に応じて適宜プリント等を配布する</p>
参考書	特になし。
成績評価の方法・基準	<p>⑦ 定期試験実施:無</p> <p>再試験実施:無(オンデマンド授業の再試験も無)</p> <p>成績評価方法:授業中に行う課題(20%)と総合演習(60%)オンデマンド授業の確認試験(20%)の総合評価で判断する</p>
URL	
備考	<p>USB フラッシュメモリーを持参してください。</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:無</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1N5390
担当教員	照屋 浩司
科目	疫学
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	③ 疫学事典によれば、疫学は「特定集団における健康関連事象の分布と規定要因を研究すること、および健康問題制御のためにこの方法を応用すること」と、定義されている。さらに近年では、疾病や健康事象の原因を探り予防に役立てるだけでなく、保健・医療・福祉サービスの効果を評価することも、疫学の重要な分野となっている。本講では、このような現代疫学を理解するのに必要な疫学、保健統計学の基礎知識について解説する。
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(2) 確かな専門知識と実践能力 あらゆる健康レベルの人々の健康ニーズに応えるために、対象である個人・家族・集団・地域の特性を考えながら看護を提供できる。</p> <p>(3) チーム医療に貢献するコミュニケーション能力 チーム医療において、他の専門職種や機関、および地域住民との連携を図り、看護が担う役割を考えながら行動することができる。</p> <p>(5) 高い専門性と研究的な視点に基づく問題解決能力 自らの専門領域の問題に対して常に専門職者としての研究的態度を考えながら取り組むことができる。</p> <p>＜看護師課程＞ 特別な状況下にある対象に対して、あるいはチーム医療の一員としての看護の役割を考えながら看護を展開できる。</p> <p>＜保健師課程＞ 地域の健康問題を把握し、社会資源を活用し住民との連携を考えながら公衆衛生看護活動を展開できる。</p> <p>＜助産師課程＞ 助産学の基本概念や助産師の役割・機能を考えながら、助産過程を展開し行動することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 疫学および保健統計学の基礎について理解する。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>① 疫学的なものの考え方の基礎的事項について理解する。</p> <p>② 様々な疫学研究方法の概要を理解する。</p> <p>③ 因果について、具体例を挙げて説明できる。</p> <p>④ 交絡や偏りについて理解し、実際の疫学研究を吟味できる。</p> <p>⑤ 臨床疫学の考え方、スクリーニングについて理解する。</p> <p>⑥ 統計学的解析の基礎について修得する。</p>
授業計画	<p>*** &lt;担当教員&gt; ***</p> <p>⑥ 照屋 浩司</p> <p>*** &lt;授業計画&gt; ***</p> <p>②④ 1. 疫学研究の実例と意義 [講義・小テスト・質疑応答] 「疫学」とは何かについて、過去の代表的な疫学研究の事例やその成果も交えて学ぶ。</p> <p>2. 統計学的解析の基礎 [講義・小テスト・質疑応答] 変数の尺度、質的・量的データの要約方法、二変数間の関連について検討するための統計解析手法について理解する。</p> <p>3. 疾病量の把握 [講義・小テスト・質疑応答]</p>

	<p>率と比、人年法、有病率、罹患率などについて理解する。</p> <p>4.記述疫学 [講義・小テスト・質疑応答] 記述疫学とは何かを学ぶ。</p> <p>5. 分析疫学(横断研究、生態学的研究) [講義・小テスト・質疑応答] 横断研究、生態学的研究の概要を理解する。</p> <p>6. 分析疫学(コホート研究) [講義・小テスト・質疑応答] コホート研究の概要を理解し、その利点と欠点を対比的に説明できるようにする。</p> <p>7. 分析疫学(症例対照研究) [講義・小テスト・質疑応答] 症例対照研究の概要を理解し、その利点と欠点を対比的に説明できるようにする。</p> <p>8. 無作為化比較試験(RCT) [講義・小テスト・質疑応答] 介入研究、とくに無作為化比較試験(RCT)について理解する。</p> <p>9. 危険度の考え方 [講義・小テスト・質疑応答] 相対危険度、オッズ比、寄与危険度、寄与危険割合、集団寄与危険割合など、危険度の考え方を理解する。</p> <p>10. 因果論 [講義・小テスト・質疑応答] 曝露と帰結の3つのパターンを理解し、因果関係を判定するための着眼点について学ぶ。</p> <p>11. 偏りと交絡 [講義・小テスト・質疑応答] 疫学研究で注意すべき選択バイアス、情報バイアスについて学ぶとともに、交絡要因の制御方法について理解する。</p> <p>12.スクリーニング [講義・小テスト・質疑応答] スクリーニング検査の定義、感度・特異度などの指標、ROC 曲線、検査後確率などについて理解する。</p> <p>13.臨床疫学とEBM(Evidence Based Medicine) [講義・小テスト・質疑応答] EBM、システマティックレビュー、コクランライブラリーなどについて学ぶ。</p> <p>14.疫学研究における倫理問題 [講義・小テスト・質疑応答] 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針を紐解きつつ、とくに疫学研究を倫理的に実施するための要件について学ぶ。</p> <p>15.まとめ [講義・質疑応答] 本講の全体について、総括する。</p> <p>◎フィードバック:小テストのフィードバックは講義時間内に行う。</p>
<p>授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間</p>	<p>1.予習:教科書 156-159 を読み、ノートにまとめること。 復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>2.予習:教科書 76-79、91-107 を読み、ノートにまとめること。 復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>3.予習:教科書 35-38、41-42 を読み、ノートにまとめること。 復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>4.予習:教科書 162-164 を読み、ノートにまとめること。 復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>5.予習:教科書 160-161、165-167 を読み、ノートにまとめること。 復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>6.予習:教科書 165-167 を読み、ノートにまとめること。 復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>7.予習:教科書 165-167 を読み、ノートにまとめること。</p>

	<p>復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>8.予習:教科書 168-169 を読み、ノートにまとめること。</p> <p>復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>9.予習:教科書 170-172 を読み、ノートにまとめること。</p> <p>復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>10.予習:教科書 188-191 を読み、ノートにまとめること。</p> <p>復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>11.予習:教科書 173-179 を読み、ノートにまとめること。</p> <p>復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>12.予習:教科書 181-182 を読み、ノートにまとめること。</p> <p>復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>13.予習:教科書 184-187 を読み、ノートにまとめること。</p> <p>復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>14.予習:事前に資料配布を行うので目を通しておくこと。</p> <p>復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>15.予習:事前に資料配布を行うので目を通しておくこと。</p> <p>復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習する。</p> <p>◎全ての回、予習は 30 分、復習は 60 分必要とする。</p> <p>◎授業外学習時間(予習・復習等)は 60 時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p> <p>◎疫学や保健統計学の学習は難解であり、親しみにくい領域であると思われる。</p> <p>わかりやすい解説とするので、当日講義予定の項目は、以下に記載の参照ページについて、事前に教科書で予備的な知識を得て十分に予習を行うこと。また、配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習すること。</p>
テキスト	「保健統計・疫学 改訂 6 版」、ISBN:978-4-525-05336-9、南山堂
参考書	「疫学の理論とすい実践」高島豊(編著) 照屋浩司、小風暁(著) 杏林書院 2007 「しっかり学ぶ基礎からの疫学」柳川洋、萱場一則(監訳) 南山堂 2004
成績評価の方法・基準 ⑦	<p>定期試験実施:有(持込 不可)</p> <p>再試験実施:有(持込 不可)</p> <p>成績評価方法:定期試験(80%)、小テストやレポート(20%)</p>
URL	
備考	<p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:有</p> <p>実務経験に係る保有資格(勤務年数5年以上):医師</p> <p>実務経験をいかした教育内容:疫学的な取り組みに医師として携わった実践的な内容を盛り込んだ講義を行う。</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1N5320
担当教員	岡本 博照
科目	公衆衛生学
単位数	⑤ 必修 1 単位
授業概要	③ 公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐に亘っているが、本講では各分野の基礎的な事項についての解説を行う。
学位授与方針の関連到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1) 高い倫理観 生命の尊厳と人権の尊重を基盤にした看護を常に自問しながら看護実践を提供できる。</p> <p>(2) 確かな専門知識と実践能力 あらゆる健康レベルの人々の健康ニーズに応えるために、対象である個人・家族・集団・地域の特性を考えながら看護を提供できる。</p> <p>(3) チーム医療に貢献するコミュニケーション能力 チーム医療において、他の専門職種や機関、および地域住民との連携を図り、看護が担う役割を考えながら行動することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 看護分野に必要な公衆衛生学の概要に関する知識を修得する。</p> <p>《個別目標(SBOs)》 公衆衛生学を構成する疫学、人口衛生統計、環境保健、保健医療行政、社会保障制度、地域保健、産業保健などの各論について理解し説明できる。</p>
授業計画	<p>*** &lt;担当教員&gt; ***</p> <p>⑥ 岡本 博照、照屋 浩司</p> <p>*** &lt;授業計画&gt; ***</p> <p>②④ 1. 公衆衛生学概論、疫学概論 [講義・質疑応答](照屋) 公衆衛生学の概念、予防医学や疫学の考え方などについて学ぶ。</p> <p>2. 環境保健 [講義・質疑応答](岡本) 環境と健康との関わりについて学ぶ。</p> <p>3. 保健衛生行政、保険医療制度、国民医療費 [講義・質疑応答](岡本) 衛生行政の概要、保険医療制度の仕組み、国民医療費について学ぶ。</p> <p>4. 人口統計 [講義・質疑応答](岡本) 人口静態統計と人口動態統計の概要、日本人の死因などについて学ぶ。</p> <p>5. 地域保健、母子保健 [講義・質疑応答](岡本) 地域保健と母子保健の在り方、保健所の役割などについて学ぶ。</p> <p>6. 成人保健、高齢者保健 [講義・質疑応答](岡本) 成人保健と後期高齢者医療制度の概要について学ぶ。</p> <p>7. 感染症、学校保健 [講義・質疑応答](岡本) 感染症法の概要、学校保健について学ぶ。</p> <p>8. 精神保健、産業保健 [講義・質疑応答](岡本) 精神保健と産業保健の概要を学ぶ。</p> <p>◎フィードバック方法: 授業内試験のフィードバックは、講義内で行う</p>

<p>授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間</p>	<p>1.予習:予防医学と疫学の概念について調べる(テキスト P2-15、P68-97)。  復習:予防活動の種類と内容、コホート研究と症例対照研究について配布資料を読んで A4 用紙1枚にまとめておくこと。</p> <p>2.予習:わが国の環境保健の現状について調べる(テキスト P16-34)。  復習:四大公害、地球温暖化/オゾンホール、大気汚染物質の種類と現状について配布資料を読んで A4 用紙1枚にまとめておくこと。</p> <p>3.予習:わが国の保健衛生行政について調べる(テキスト P198-216)。  復習:わが国の保険医療制度と国民医療費について配布資料を読んで A4 用紙1枚にまとめておくこと。</p> <p>4.予習:わが国の人口の現状、人口統計の種類について調べる(テキスト P35-67)。  復習:人口静態統計と人口動態統計について配布資料を読んで A4 用紙1枚にまとめておくこと。</p> <p>5.予習:わが国の地域保健と母子保健について調べる(テキスト P211-224)。  復習:保健所と市町村保健センターの役割について配布資料を読んで A4 用紙1枚にまとめておくこと。</p> <p>6.予習:わが国の成人保健と高齢者保健について調べる(テキスト P110-132、P224-228)。  復習:生活習慣病対策と後期高齢者医療制度について配布資料を読んで A4 用紙1枚にまとめておくこと。</p> <p>7.予習:わが国の感染症の現状と学校保健について調べる(テキスト P180-187、P237-242)。  復習:感染症と学校保健の概要について配布資料を読んで A4 用紙1枚にまとめておくこと。</p> <p>8.予習:わが国の精神保健と産業保健について調べる(テキスト P188-194、P229-237)。  復習:精神保健と産業保健の概要について配布資料を読んで A4 用紙1枚にまとめておくこと。</p> <p>◎全ての回、予習 30 分、復習 30 分必要とする。  ◎授業外学習時間(予習・復習など)は 30 時間必要であるため、不足分は休暇などを利用して復習すること</p>
<p>テキスト</p>	<p>「エッセンシャル 社会・環境と健康(第2版第11刷)」ISBN: 978-4263704974 医歯薬出版  必要に応じ配布資料あり</p>
<p>参考書</p>	<p>「国民衛生の動向」厚生統計協会</p>
<p>成績評価の方法・基準</p>	<p>⑦ 定期試験実施:有(持込 不可)  再試験実施:有(持込 不可)  成績評価方法:定期試験(60%)、小テスト/レポート(40%)</p>
<p>URL</p>	
<p>備考</p>	<p>《実務経験のある教員による授業科目》  科目代表教員の実務経験有無:有  実務経験に係る保有資格(勤務年数5年以上):医師  実務経験をいかした教育内容:保健医療、教育、産業、地域等の分野において公衆衛生活動に従事した経験を授業に反映させている。</p>